

(様式第1号)

平成31年3月28日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 村山 俊雄

記録者 笹原 隆義

班員 伊藤 護國

〃 松田 光也

〃 遠藤 喜昭



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成30年11月14日(水)午後7時～午後8時30分	
2 会 場	市立長岡公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	9名	
5 報告内容		
6 意見・要望等	市 民	議 員
	1 熊の出没の際、連絡体制は出来ているのか。	連絡網はできているが、その日は偶然日曜日なので生徒には周知されなかった。
	2 ICT教育について 良いことだが、タブレットを渡すだけで、それを使える先生が少ないのではないかと。得意な先生がいなくなると宝の持ち腐れになる。 英語やプログラミングもあり先生の負担も大きいので、きちんと教えられる先生をしっかりと確保していくべき。教える人材がいなければ民間から登用すべき。	寺津小でスタートしたICT、教職員のスキルアップを目指すため外部の講師の授業を受けている。 同様に長岡小も教職員のスキルアップをやっていると思う。 部活動の外部講師で教職員の負担軽減を図っている。そういった中でプログラミングなどのスキルアップもやっていくと聞いている。

	<p>3 東京などでは、町内会への加入率が半分というところもあり、様々な不都合が生じている。役員のなり手不足問題、行政の依頼過大もあり、今後、町内会の在り方についても検討が必要である。議会ではどう考えているのか。議論をしたことはあるのか。</p>	<p>議会でも話題となっている。 農村部も中心部も、なり手不足。 少子高齢化の中、新たな形で再構成しないと、さらなる歪が生じるだろう。 問題は認識している。 今後、議会で検討していきたい。</p>
	<p>4 市議会の会派について 同じ会派でも賛否がわかれている。なぜか。自民党や共産党などなら理解できるが市議会の会派についてはどうなのか。</p>	<p>会派は政治理念の共通する集まりで政党単位ではない。 また、この議案については、各会派とも個人の判断に任せた。</p>
<p>7 所 感</p>	<p>地域の役員の業務過多に対する考えなど、少子高齢化の中、なり手不足が地域コミュニティにまで及んでいる。今後の在り方にとっても考えるべき点であろうと感じた。今後の大きな課題として突きつけられたと思う。</p>	